2026-057

研究課題名	3種類の顎顔面外傷スコアによる併存外傷：後ろ向きコホート研究
実施責任者	所属・職名：歯科口腔外科　医長
	氏名：林　宏紀
研究の概要	顔面の骨折では頭部損傷を合併することがあり、初診時の重症度評価が大切です。顔面の骨折した部位から計測するZS（Zeeshan and Simon maxillofacial trauma score）、FISS（Facial Injury Severity Scale）、MFISS（Maxillofacial Injury Severity Score）は手術時間や集中治療室への入室と関連することが報告されていますが、頭部損傷との関連は不明です。本研究ではZSおよびFISS、MFISSの頭部損傷について検討します。
対象となる個人情報	性別、年齢、既往歴、内服歴、入院期間、受傷原因、受傷部位、高エネルギー外傷の有無、ZS、MFISS(maxillofacial injury severity score)、FISS、AIS(Abbreviated Injury Scale)、ISS(Injury Severity Score)、GCS(Glasgow Coma Scale)、RTS(revised trauma score)、SI(Shock Index)
実施の期間	西暦2009年1月1日より
	西暦2025年12月31日まで
研究対象	当科において顔面骨折にて入院された患者のうち、ZS、FISS、MFISS 頭部外傷の記録を確認出来た患者を対象とします。